

令和3年度
推薦入試

【 人文・文化 学 群 比較文化 学 類 】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
小論文（1）【英語】	<p>問1 出題意図 本文で提起されている問いへの筆者の答えを読み取り、日本語で簡潔に表現する能力を問う。 解答例 社会規範は強くもありもろくもある。それは、大抵の人を黙らせ、現状を維持する力を持っている。しかし、ある日、王様は裸だと言う子供や、丘の上で一人暮らしをする男など、規範に異議を唱える人が現れる。小さな異議が生まれると、他の人たちも自分の考えを言い始め、一滴が洪水へと広がるように社会が変化していく。(148字)</p> <p>問2 出題意図 社会運動を予想することは困難もしくは不可能だった理由2つを本文から読み取り、日本語で簡潔に表現する能力を問う。 解答例 主な理由は、何にどうあってほしいかという自分の本心を偽った表明をする傾向を、人が持っていることにある。このため、人は互いの本心を知ることがなく、たとえ社会の変化の機が熟していても、その事実にはほとんど気付かないのだ。もう一つの理由は、社会的交流の比重の大きさにある。社会に変化が起こるには、社会的交流を通して、適切な時と場所で、既存の規範のもろさが印象付けられていく必要があるが、それが起こるのか起こらないのか、いつどこで、誰が誰に何をどのように伝えるのか、といったことは、ほとんど予測不可能なのだ。(249字)</p> <p>問3 出題意図 社会変革は、タイミングさえ合えば少しの圧力で起きる可能性があり、この数十年間が驚くほど異なるさまざまなコースをとっていく可能性もある。それを踏まえて、今後実際に起こる可能性があると考えられる社会変革をテーマにして、議論を組み立てる力を問う。適切な表現を用いて説得力のある議論を展開できているか否かを評価する。 解答のめやす 本文の論点を踏まえた上で、どのような社会変革の可能性が考えられるか、社会変革はどのように起きると考えられるかについて、独自の視点と問題設定から議論を行い、論理的な文章によって議論を展開することが求められる。</p>

小論文（2）【日本語】

問1

出題意図

本文を的確に読み取り、設問に即して規定字数以内でまとめる能力を問う。

解答例

哲学的思考を通して習得される二つの能力、「論理的に思考する」能力と「箱の外に出て思考する」能力、が社会において役立つことを著者は論じている。「論理的思考力」は冷静かつ合理的批判的にものごとを分析し、他者とのコミュニケーションや議論の場で明晰で説得力のある主張や議論を行うことに役立つ。また情報を整理し、その内容を文章にまとめあげる際に有益な効果をもたらす。「箱の外に出て思考する」力は、ふつうの人がふだん考えないことを考える力であるが、常識にとらわれない発想で新しいアイデアを生み出すことに役立ち、また、マニュアルどおりにはいかない想定外な事態に遭遇した時に、柔軟に対応し生き抜く力を与えてくれる。(299字)

問2

出題意図

一見奇妙に見える常識はずれの突飛な発想や、無駄に見える答えのない問いに取り組むこと、既存の道を外れて進むことの意義が論じられていることを理解できているかを問う。そして、それが日常のどのような場合に役立つか、を考えさせ、応用力と柔軟な思考と、それを具体的な例をあげて論述する能力をみる。

解答のめやす

「箱の外に出て思考する哲学の力」という抽象的な概念を具体的な事象と結びつけて発展的に思考する力と、それについての自分の考えを説得力をもって論述する能力が要求される。